



2020年9月14日

各 位

会社名 KTC（京都機械工具株式会社）  
代表者名 代表取締役社長 田中 滋  
（コード 5966 東証第二部）  
問合せ先 総務部長 竹内 昇  
（TEL 0774-46-3700）

### 当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会の実効性を高め、取締役会の機能向上を図ることで、より一層の企業価値を向上させることを目的とし、取締役会の実効性に関する分析・評価（自己評価）を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 分析・評価の方法

当社は、2020年3月期を評価対象期間として、社外役員を含むすべての取締役（監査等委員を含む）に対し、以下の内容の「当社取締役会の実効性に関するアンケート」を配布し、全員から回答を得ました。得られた回答をもとに当社取締役会において、結果の分析や今後の課題について審議いたしました。

【実施時期】： 2020年 7月～8月

【質問内容】： ① 取締役会の構成に関する質問 4問  
② 取締役会の運営に関する質問 9問  
③ 取締役会での審議充実に向けた質問 12問  
④ 取締役会を支える体制に関する質問 7問  
⑤ 株主その他ステークホルダーとの関係に関する質問 2問  
⑥ その他（前年度との比較評価、要望事項等自由記載） 3問

【回答方法】： 各設問に対し、5段階評価およびコメント（理由・意見）/記名式  
なお、意見記載事項については別途ヒアリング調査を実施いたしました。

#### 2. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果、いずれも高い評価であることから、前年同様に取締役会の実効性は概ね確保され、適切に機能しているものと評価します。

また、以下の観点から、コーポレートガバナンスはさらに強化されていると判断いたします。

- ・取締役（社外役員を除く）に対する中長期的な業績と連動する報酬として、譲渡制限付株式報酬制度を導入し、コーポレートガバナンス・コード【原則4-2.取締役会の役割・責務(2)】対応を図った。
- ・取締役会長、取締役社長並びに取締役副社長の役付取締役3名体制としたことに加え、代表取締役2名体制としたことで、社長を取締役会の議長とし、更に議論が活発に行われるようになった。

#### 3. 今後の対応

当社の取締役会は、上記の分析・結果を踏まえ、取締役会資料の電子化の検討を進めることで情報の一層の事前配布や社外役員に対する閲覧性を高めるとともに、次期中長期経営戦略に対する討議の場として、取締役会がより高い実効性を確保できるよう努めて参ります。

以上